

広島大学短期交換留学プログラム 派遣留学報告書

記入日 2018年 1月 27 日	
派遣プログラム	<input checked="" type="checkbox"/> USA <input type="checkbox"/> USAC <input type="checkbox"/> UMAP
留学先大学	ネバダ大学 (国名：アメリカ合衆国)
所属学部・学科等名	Liberal Arts
在籍身分	学部生
留学期間	2017年 8月 19日～ 2018年 12月 20日

<b>1. 留学するまで</b>	
留学への志望動機・派遣先大学を希望した理由	ネバダ大学リノ校は他の協定校と比較して他国からの受け入れ留学生の数が多く、他国からの留学生とも交流する機会をより多く持てると感じたため。
留学準備を始めた時期 (応募する何か月前ですか?)	4か月前から
事前準備について (どのような準備をしたか、しておけばよかったか)	ビザの取得、航空券の購入、予防接種、英語の勉強 アメリカは求められる予防接種が多いため、大学から必要な予防接種のリストが来たら早めに済ませることをお勧めします。ビザの取得もいくつかのステップがあるのでお早めに。

<b>2. 渡航について</b>	
ビザについて	ビザの種類：J1
	ビザ申請先：アメリカ大使館
	提出書類：パスポート、DS2019、面接確認書、SEVIS
	手続きに要した日数：約2週間
その他必要な事前手続き	特になし
出国年月日	2017年 8月 19日
経路(往路)	成田→ロサンゼルス→リノ
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有(大学関係者・ <u>その他</u> ) <input type="checkbox"/> 無
到着後オリエンテーションの有無・期間・内容	<input checked="" type="checkbox"/> 有(期間：2日間 内容：キャンパスツアー・授業登録の方法など) <input type="checkbox"/> 無
帰国年月日	2018年 1月 11日
経路(復路)	リノ→ロサンゼルス→成田

## 3. 留学費用について

支出額	総額	1770000	円	
	内訳	渡航費（往復）	330000	円
		ビザ申請手数料	25000	円
		予防接種費用	35000	円
		保険料	50000	円
		教材費（授業料以外の学費）	30000	円
		宿舍費（住居費）	300000	円
		光熱費	0	円
		食費	100000	円
		通信費（インターネット・携帯）	0	円
		交通費（宿舍－大学間）	0	円
		交際費	50000	円
		その他（旅費）	700000	円
（初期費）	80000	円		
（設備費）	70000	円		

## 4. 授業・修学について

授業の概要について （カリキュラム、プログラム、履修した科目、時間数、履修形態等）	英語の writing, speaking の授業と public speaking, anthropology の専門授業を履修していました。Writing, Speaking の授業は週 2 回 1 時間半ずつ、Public Speaking の授業は週 2 回 50 分の講義と月 1 回 3 時間 45 分のスピーチ授業、Anthropology の授業は週 2 回 50 分の講義と週 1 回 50 分のディスカッション授業。
単位互換希望の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
授業・勉強についてのアドバイス （留学前の履修、留学中、単位取得等）	授業にも寄りますが、ほとんどの授業が多量の宿題の提出を要求するため、留学前から机について勉強をする習慣をつけていると、抵抗心なく多大な宿題もこなしていけると思います。同じ授業を取っている現地の学生と友達になると良いと思います。
日本と異なる授業形態などにおける困難や挑戦（ティーチングスタイル・先生と学生の関係性など）	上述したように、Public Speaking の授業では月 1 回 3 時間 45 分のスピーチ授業があり、毎回異なるテーマに沿ったスピーチを行いました。（大学の卒業スピーチ・説得スピーチなど）。自分以外全員がネイティブスピーカー中、スピーチを一人一人発表するもので日本の授業にはない緊張感でした。

## 5. 生活等について

(1) 留学先の住居について			
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input type="checkbox"/> アパート <input checked="" type="checkbox"/> その他 (international house )		
住居の広さ	約 300 m <sup>2</sup>	同居人の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 ( 9 人 ) <input type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input checked="" type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input checked="" type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input checked="" type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input type="checkbox"/> 食堂 <input type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ( )		
住居費	1ヶ月当たり 600 ドル	(現地通貨)	約 68400 円
留学先での住居全般に関するアドバイス	大学寮にはキッチンがないので、料理をしたい方は international house か、少し高めですが republic という寮をお勧めします。		

(2) 医療について	
保険の加入先	<input checked="" type="checkbox"/> 本学指定の保険 <input type="checkbox"/> 留学先大学指定の保険 <input type="checkbox"/> その他 (                      )
保険の補償内容	補償額 死亡 1000 万円、入院1日 1 万円 その他 (                      )
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (種類：ツベルクリンなど    回数：複数回    医療機関名：                      ) <input type="checkbox"/> 無
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	病院に行ったことがないので、分かりません。
留学先での健康管理、衛生面について特に注意すべきこと	昼夜の寒暖差が激しく、昼間は暖かなくても朝と夜は冷え込むので、服装には気を付けてください。 リノは砂漠に囲まれていて乾燥しているので乾燥には気を付けてください。
(3) 危険を感じた地域、状況、安全管理において注意したこと	
大学周辺は比較的安全ですが、ダウンタウンの方に行くと治安がいきなり悪くなり危険なので、一人では行かないようにと何度も言われました。ドラッグをやっている人・ホームレスの人・物乞いの人がたくさんいます。用事がない限りダウンタウンをうろろろするのは危険なのでお勧めできません。	
(4) 食生活についてのアドバイス	
大学周辺にはスーパーマーケットのような施設は存在せず、買い物をする際には車での移動となります。週一回日曜日にスーパーマーケットまでのシャトルバスが出ているので利用できます。大学内にはフードコートもあり、中華料理・メキシコ料理・サンドウィッチの店・スターバックスなどの店が入っています。	
(5) 気候・服装についてのアドバイス	
8・9月は暖かくて日中は日差しがとても強かったです。11 月ごろからいきなり寒くなります。月に関わらず、朝と夜は冷え込むので、日中暖かなくても寝るときは暖かい服装をして寝る必要があります。乾燥がすごくて喉を傷めることが何度かありました。	
(6) 学内外の施設・設備環境について (インターネット環境含む)	
学校の敷地内は Wi-Fi が接続されています。基本的には大学内であればつながるのですが、たまに接続が悪い場所もあります。建物内であればほぼ確実につながります。図書館とジムの設備がとてもよく、ジムにはバスケットコート・陸上トラックなどもあります。ジムは一学期間を 5000 円ほどで使うことができます。	
(7) 現地学生や地域との交流について (どのような、機会・きっかけがありましたか?)	
毎週日曜日に地元の方が留学生用にひらいてくれる夕食会があり、そこには留学生だけでなく留学生と交流したい現地の学生もいるので、その夕食会を通して多くの方々と交流できます。あとは授業で一緒になった学生とグループディスカッションなどを通して親しくなりました。	
(8) 習慣やマナーの違いによる対人関係等、注意すべきこと	
アメリカはキリスト教徒の方が多く、生活にもそのことが反映されているので、キリスト教に関する生活習慣について最低限のことは知っておくとよいと思います。	

(9) 日本から持っていきべきもの、持っていきべきでないもの
薬は自分に合ったものを日本から持っていった方が良いと思います。
(10) その他生活等に関して参考となる情報・アドバイス
特にスポーツ系の部活動に参加するためには選考会を通過する必要があり、部活動に関するオリエンテーションなどは特にはないので、現地の友人に訪ねるなどして自分からアンテナを張っておく必要があります。

<b>6. 帰国後の進路について</b>	
卒業予定年月	2019 年 3 月 (当初の卒業予定年月 2019 年 3 月)
卒業が遅れる見込みの場合、その理由	<input type="checkbox"/> 4年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他(具体的に )
現在の状況および今後の予定・進路等	卒業論文を書きます。
就職活動や留学前の単位取得、教育実習等についての工夫	留学前にできるだけ多くの単位を取得しておくことをお勧めします。

<b>7. 留学準備、留学中に役立った書籍、ウェブサイト等</b>		
書籍、サイト名	詳細(出版社、URL等)	コメント

<b>8. 後輩へのメッセージ</b>
リノには特に遊ぶようなところはないですが、学内施設は充実しており、図書館も遅くまで開いているため、勉強するにはとても良い環境だと思います。大学内だけでも数多くのイベントを開催しているので、常に自分から情報を集めて、様々な行事に参加するとよいと思います。精一杯楽しんでください。

## 9. 自由記述 (1,200 字程度)

### ①留学を終えての所感

以前にも何度か留学したことがありましたが、今回の留学を通して一番感じたのは勉強量が圧倒的に多いということです。日本の授業ではほとんど宿題ができませんが、アメリカでは毎授業で宿題が出ていました。宿題にプラスして予習と復習をしなければ、ネイティブスピーカーについていくことはできないので毎日遅くまで図書館に残って勉強していました。中でも、パブリックスピーキングという授業には特に力を入れていました。この授業は、週二回の講義と月一回のスピーチ授業がありました。月一回のスピーチの授業では30人ほどの現地の学生の前でスピーチをします。合計4回のスピーチをしたのですが、内容は「最も感動した瞬間」、「卒業スピーチ」、「情報スピーチ」、「説得スピーチ」でした。留学生は私一人で緊張感漂う授業だったので特に注意深く準備をしていきました。

### ②留学期間中、最も印象に残った体験・出来事

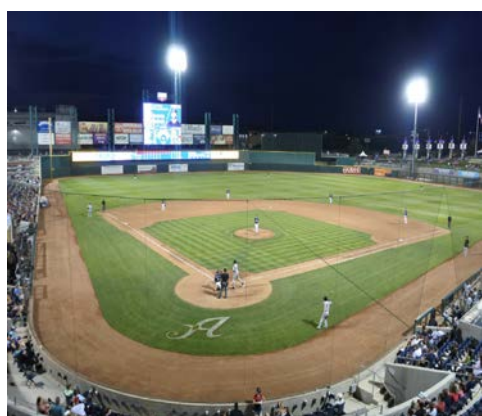
現地の宗教や文化に関わる驚きはたくさんありました。決定的な違いは、日本が仏教国であるのに対して、アメリカの方のほとんどはキリスト教信者ということでした。もちろん人によって信仰の度合いは違うのですが、毎週日曜日に教会に行ったり、食事の前にお祈りをしたり、聖書が家においてあったり、想像の範囲内のことではありますが、日本にはない習慣であったので、慣れるのにすこし時間がかかりました。クリスマスはキリスト教の行事だけあって盛大に祝われていました。

### ③留学の成果、留学前と比較して成長した点

留学期間中特に意識して勉強していたのは、スピーキングとリスニングでした。ライティング・リーディングは日本で一人でも学べる分野であるのに対し、スピーキング・リスニングは対人のスキルになるので、留学はとても良い機会であると捉え、特に力をいれました。具体的な方法は、積極的に現地の学生の和の中に入っていき、英語を常に聞いたり、話したりするということでした。部活動に入ったり、イベントに参加したり、積極的に自発的行動をすることで、以前よりスピーキング・リスニングは特に伸びたと感じています。

### ④今回の留学での経験や成果を今後どのように活かしたいか

今回の留学では、英語はもちろんですが、その他多くのことを経験し、多くのことを学びました。アメリカの thanks giving day・クリスマスは特に盛大に祝われていて、日本には体験できないことでした。また、スピーチの授業では度胸が身に着き、スピーキングの授業ではプレゼンテーション能力が向上しました。これらの学びは、大学を卒業して社会人になっても重要なスキルであると考えます。留学で学んだことを十分に今後のキャリアに役立てたいと思っています。



注1) 報告書およびその内容は、留学希望者への情報提供のため、HUSA ホームページおよび広島大学ホームページへの掲載、事務室での閲覧や大学の留学情報案内の作成のために利用させていただきます(氏名及び学生番号については、非公開とします)。ただし、公開にあたり不適切と判断された内容については、国際交流グループにて削除等させていただきますので予めご了承ください。